

発表項目 (行事名)	令和元年度北海道高速自動車国道事故等対策訓練		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 日時 令和元年12月18日 (水) 13時30分～16時30分</p> <p>2 場所 苫小牧市消防本部 (苫小牧市新開町2丁目12番7号) 2階 研修室</p> <p>3 目的 「高速自動車国道事故等対策要綱」に基づき、高速自動車国道の多重衝突事故等において、現地対策本部を中心とした各機関の連絡調整及び救急・救助活動等を総合的に訓練し、実働の事故現場において、迅速、的確な活動を目指すことを目的として実施する。</p> <p>4 主催 北海道 北海道警察本部 東日本高速道路株式会社北海道支社 全国消防長会北海道支部</p> <p>5 参加機関 北海道警察本部交通部高速道路交通警察隊、東日本高速道路(株)北海道支社、苫小牧市消防本部、室蘭市消防本部、登別市消防本部、西胆振行政事務組合消防本部、胆振東部消防事務組合消防本部、白老町消防本部、日高西部消防組合消防本部、札幌市消防局、千歳市消防本部、岩見沢地区消防組合消防本部、夕張市消防本部、砂川地区広域消防組合、江別市消防本部、三笠市消防本部、恵庭市消防本部、羊蹄山ろく消防組合消防本部、北後志消防組合消防本部、北広島市消防本部、旭川市消防本部、富良野広域連行消防本部、大雪消防組合消防本部、とちかち広域消防局、北海道開発局苫小牧市立病院、王子総合病院、道央ドクターヘリ事務局、全国消防長会北海道支部事務局、北海道、北海道消防学校、胆振総合振興局</p>		
参 考 ※発表のポイント やねらい、経緯	<p>1 参集人員 訓練参加者・参観者 計 約100名</p> <p>2 訓練次第 ①開会式 ②参加機関紹介 ③訓練 ④閉会式</p> <p>3 訓練方法 災害図上訓練DIG (Disaster Imagination Game)</p> <p>4 訓練想定等 高速道路上でワゴン車と大型観光バスの交通事故が発生。さらに凍結路面により後続の車両数台が衝突し、多数の負傷者が発生する事故を想定。 東日本高速道路株式会社北海道支社、北海道警察本部及び苫小牧市消防本部による迅速な応急対策を図るとともに北海道広域消防相互応援協定に基づく応援出動を要請するほか、医療機関及び道央ドクターヘリ等との連携した救急救助活動を行う。</p>		
報道(取材) に当たって のお願い	<p>1 報道機関の皆様の駐車場は、訓練会場駐車場(苫小牧市消防本部「別図参照」)です。</p> <p>2 <u>会場では腕章着用の上</u>、取材位置につきましては、係員の指示に従ってください。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レテ		
担 当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課消防グループ (担当 相良、佐藤) TEL 011-204-5009 (直通) 内線22-570 FAX 011-231-4314		

令和元年度高速自動車国道事故等対策図上（D I G）訓練

1 目的

「高速自動車国道事故等対策要綱」に基づき、高速自動車国道の多重衝突事故等において、現地対策本部を中心とした各機関の連絡調整及び救急・救助活動等を総合的に訓練し、実働の事故現場において、迅速・的確な活動を目指すことを目的として実施する。

2 実施日時

令和元年（2019年）12月18日（水） 13時30分から16時30分

3 実施場所

苫小牧市消防本部 2階 研修室 （苫小牧市新開町2丁目12番7号）

4 参加機関

- (1) 北海道
- (2) 北海道警察本部
- (3) 東日本高速道路株式会社北海道支社
- (4) 全国消防長会北海道支部
- (5) 道央ドクターヘリ事務局
- (6) 苫小牧市立病院
- (7) 王子総合病院

5 訓練想定

本訓練は、2月某日17時頃、道央自動車道上り、美沢パーキングエリア出口付近で発生した大型バスを含む多重衝突事故により、傷病者が多数発生したとの想定で実施する。

6 訓練概要

実災害を想定した図上訓練（D I G）とし、各機関の訓練参加者をグループ分けし、同じ事案について、高速自動車国道事故等対策要綱に基づき、事故等対策現地本部（消防機関・高速道路交通警察隊）の設置や事故等対策連絡本部（北海道）への通報など、現場での対応行動について災害想定をイメージしながら議論し、結果をまとめグループごとに発表を行う。

7 その他

訓練の進行は、ファシリテーターが行い、参加者の主体的な意見を引き出すような助言をする。